

令和 5 年度

学校関係者評価報告書

令和 6 年 9 月

日本航空大学校
北海道 新千歳空港キャンパス

学校関係者評価報告書

1. 学校関係者評価委員会

(1) 開催日時 令和6年9月26日(木) 13:00 ～ 14:50

(2) 開催場所 日本航空大学校 北海道 CTC2

(3) 学校関係者評価委員

小池 隆 氏 (全日本空輸株式会社 整備センター 業務推進部 マネジャー)
両國 陽香 氏 (ANA 新千歳空港株式会社 総務部 人財戦略課 マネジャー)
石田 滯奈 氏 (株式会社 JAL スカイ札幌 企画総務部 スーパーバイザー)
細田 暁彦 氏 (株式会社 JAL グランドサービス札幌 総務部総務 グループ長)
奇二 丈浩 氏 (株式会社 I H I 航空・宇宙・防衛事業領域 武蔵総務部 部長)
吉田 保夫 氏 (公益社団法人 日本航空技術協会 事務局長)
奥谷 則世 氏 (公益財団法人 千歳青少年教育財団 常務理事)

欠席者

百田 寛 氏 (様株式会社 JAL エンジニアリング
総務部組織人財グループ グループ長)

(4) 学校委員

梅澤 忠弘 (学長)
山本 浩 (副学長)
八反田 武 (教務部長)
木村 峻 (学生部長)
白岩 将昌 (学生募集部長)
宮本 武志 (航空工学科 学科長)
岩田 和行 (航空整備科 学科長)
中井 浩貴 (空港技術科 学科長)
三浦 愛子 (国際航空ビジネス科 学科長)
川村 賢一 (総務担当)

(5) 評価対象期間

令和5年4月1日から令和6年3月31日

(6) 実施方法

学校関係者評価の実施にあたっては、学校から学校関係者評価委員の皆様に「令和5年度自己評価結果」について説明し、自己評価についての評価、意見を頂いた。

(7) 情報公開

学校関係者評価報告書として取りまとめ、日本航空大学校 北海道のホームページで公開する。

自己評価に対する評価

評価は、4～1の点数で記載

4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

■ 1 教育理念・目標

評価 4

意見、提案など

- ・自主性を重んじ、学生の意欲を尊重されていることが感じられました。
- ・SNSの発信が多くとても良い。
- ・最新の教育トレンドや技術を取り入れ常に進化する教育環境を提供されていて魅力的である。視覚的な魅力、広範なリーチ、学生・保護者のエンゲージメント向上に資する。

■ 2 学校運営

評価 4

意見、提案など

- ・教務システムの利用、SNSでの発信を行っているが個人情報の漏洩に対するチェック体制はどのようにしているのですか。
- *教務システムは閲覧、入力、変更等は権限を設けて操作する者を限定している。保護者の閲覧においては必要事項のみの閲覧に限定し、「個人情報保護規定」「個人情報保護委員会規則」を定め、適用しています。学生が作成したSNSにて発信する内容は個人情報、写真の使用許可など、教員が確認を徹底し、SNSの取り扱いについての注意事項は日頃より指導しています。
- ・個人情報保護及び漏洩に対する対策、セキュリティ、SNS利用上のモラル、発信前の事前点検等しっかりされていることを確認できました。
- ・自ら考え行動する学生の支援環境が整備されていると感じました。BLENDの活用はお話を学生様から伺ったことがあり、とても効率的にタイムリーに情報が共有されておりとても参考になりました。

- ・ホームページ、Instagram、Teams、BLEND など各種の情報システムを活用し、教育・広報活動の充実や業務効率化を図られていることがよくわかりました。求人票を家族と共に閲覧できるという点も学生の進路選択という点で非常に良いものと思います。
- ・情報共有が IT 化されており効率的になっている。
- ・システムの一本化など分かりやすく見える化したこと、情報管理を適切に実施していることについて大変評価できる。
- ・学生の健康管理や出席状況、成績等のシステム管理によって教職員の連携強化のみにとどめず、保護者との連携にも活用されており非常に合理的であると考えられる。

■ 3 教育活動

評価 4

意見、提案など

- ・ 2つの PBL が貴校の学生にしっかり身につき、将来就職後の企業でも成果が発揮できることを大いに期待しています。
- ・ PBL に関して提案の実現化が進み学生の達成感につながる良い経験だと思います。グラウンドハンドリング科の実務研修においても学生視点での問題解決がなされており、過程も含め、思考や学びにつながって欲しいと感じました。
- ・ Project Based Learning .Problem Based Learning を通じて、自主自律できる人財が育成されており成果もあげられていることが確認できました。教育をより一層充実させるため企業としてご協力できることがあれば、ぜひご相談ください。
- ・ PBL は是非 R6 年度は全学科で！教員のレベルアップに取り組まれている点はとても良いと思います。

■ 4 学修成果

評価 4

意見、提案など

- ・ コロナ禍が終わり講習、実習は近い距離で対話もできるようになり良かったと思います。対面でのコミュニケーション能力の向上に期待します。
- * 1年生の退学については入学前に辞めない工夫をしています。高校への出前授業やオープンキャンパス等で業界の仕事の説明をして理解を深めてもらい、ミスマッチを防いでいます。
- ・ 退学者への対応等についての話を伺うことができました。企業としてもご協力してまいりたいとおもいます。
- ・ 企業による実習、講義に関して要望等がありましたら遠慮なくお伝えください。
- ・ 技術協会の脳力診断テストもご活用ください。
- ・ 近くに学びあり。様々な方法でレベルアップされていることが伺えた。
- ・ 退学者の主な退学事由は、企業に入社後の退職事由と同等。就職前の段階で適性を見極めて個々にあった進路提案は本人・企業にとって非常に重要であることから引き続きケアを実施して頂きたい。

■ 5 学生支援

評価 4

意見、提案など

- ・門限の撤廃、チャイムの停止は学生が自律するための教育の一つと理解しました。ただ、学生の安全、組織運営のために最低限必要なルール等については引き続きしっかりとご指導いただきたいと思います。
- ・昨今メンタル不調者が増加している中で、取組はとても参考になりました。
- ・学生に対し、自主性、主体性を育む仕組みを整える一方で、きめ細かいフォローを同時にされていることがよくわかりました。
- ・学業とプライベートの両立を充実する一方で悩みを抱える学生もいると推察する。社会人ならではのストレスを将来的に感じることを踏まえ、学生向け社会人準備のためのメンタルヘルスセミナーを取り入れてみてはいかがかと考えた。

■ 6 教育環境

評価 4

意見、提案など

- ・充実した学校生活を過ごすことができる環境が整えられていると思います。
- ・施設や教材については毎回訪問するたびに素晴らしいと感じており、学校としての工夫や熱意を常と感じ取れる。

■ 7 学生の受け入れ募集

評価 4

意見、提案など

- * コロナの影響で航空業界への不安を抱いている保護者へ業界の現状を説明してご理解をいただいております。ミスマッチを防ぐためにオープンキャンパスで空港の現場を見ていただき、卒業生から生の声を聞いてもらっている。メンタル不調者への取り組みも企業と協力して行っています。
- ・航空業界に対する親御様の認識が変化してきていることも伺う事が大変嬉しく思いましたし、梅澤学長からのご説明もいただき学生募集に対する取り組み（認識のミスマッチ削減）についてよく理解できました。ありがとうございました。
- ・将来の人材確保のため、小中校生からの意識付けは重要であると考えています。
- ・航空業界をさらに発展させていくためにも、産学で協力しながら就学、就職希望者の拡大を図っていきたいと思います。引き続きよろしくお願いします。
- ・中学生の学校見学はとても良い。
- ・学生の志向は時代とともに変わり得るため目線を合わせて各種取組に対応することが大変重要だと感じた。
- ・航空人財の獲得に向け高校生のみならず中学生など若年層へのアプローチはひじょうに効果的であり弊社も積極的に関わり航空業界で働くイメージを具体的に持てる機会を提供していきたい。

■ 8 財務

評価 4

意見、提案など

- ・学生数もコロナ前に戻りつつあることを確認できました。教職員のご尽力に敬意を表します。今後航空高校への入学数の増加も大いに期待しております。
- ・学生数はR7の見込みを踏まえても、まだコロナ禍前に届いていないので引き続き頑張ってください。
- ・学校運営の根幹をなす財務が安定していることを聞き引き続き財務基盤の強化を期待したい。

■ 9 法令等の遵守

評価 4

意見、提案など

- ・個人情報保護、セクハラ、パワハラ、モラハラについては、企業にとっても大きな課題であり、ルールの設定とルールの厳守、合わせて日ごろの監視、モニター、タイムリーで適切な対応が求められています。貴校におかれましても引き続きご法令遵守をお願い致します。

■ 10 社会貢献・地域貢献

評価 4

意見、提案など

- ＊地域貢献が大きくなっているが要因は本校の認知度が上がったことと、学生が積極的に行動している結果だと思います。自分たちで考え企画してチャレンジ精神をもって取り組み達成感を得ることで成長しています。
- ・社会貢献の渦が大きくなっていることの要因は、北海道校が色々な面でテストケースとして積極的に仕掛けていること、学生自身自らチャレンジすることが学校の文化となっていることを伺い大変すばらしいと感じました。
- ・挑戦意欲を育成することができる仕組みとなっており、参考になります。
- ・地域に根差して活躍されている状況がよくわかりました。
- ・JALグループの一員として、一個人として地域社会に貢献される姿に感銘を受けることがたくさんある。自主性が広がっていくことが本当に見て取れ、改めて素晴らしいことだと実感した。
- ・千歳 JAL 国際マラソンボランティアでは多大なるご協力に感謝申し上げます。御校のボランティア精神を育むための取り組み（プログラムの提供、自ら考え行動させる等）には感銘をうける。引き続き連携させていただき、双方にとって実りある活動をしていきたい。

意見、提案など

- ＊海外からの学生の日本語教育はという質問ですが大学校は日本語ができる状態で入学しているので問題なく授業を行っています。ウクライナ避難民については日本語教員による指導を受けている。
- ・海外からの留学生、日本企業へ就職される外国人留学生に対する「日本語教育」について伺うことができて安心しました。
- ・海外留学生の受入れ態勢が整備されていると感じました。留学生のエントリーは年々増加しており、中国籍、韓国籍が増えてきております。

以 上